

令和5年度ステップ・アップ研修実施報告

1 目的

ステップ・アップ研修は、初任者研修を踏まえるとともに、1年間の教員としての経験をもとに現職教員研修の一環として、実践的指導力と使命感及び幅広い知見等のより一層の向上を目的とする。

2 期日

第1日（8月4日）オンライン型研修
第2日（8月8日）参集型研修

3 受講者数

3 受講者数	314人
小学校等教諭	183人
中学校等教諭	131人

4 日程

<第1日> 令和5年8月4日（金）【全日：所属校研修（オンライン）】

- ・講話「ステップ・アップ：進歩すること。向上すること。」
東部教育事務所 所 長 鈴木 美幸
- ・講義1「東部の教育を担う教員について」
東部教育事務所教育支援担当・学力向上推進担当
主席指導主事 向後 健一
- ・講義2「教育公務員としての服務規律と不祥事の防止」
東部教育事務所総務・人事・学事担当
主席管理主事 田村 嘉則
- ・講義3「生徒指導に関する現状と課題」
東部教育事務所 主任指導主事 野見山 伸一
- ・講義4「特別支援教育の視点を生かした授業、学級経営の充実」
東部教育事務所 指導主事 太田 真輝
- ・講義5「道徳教育の充実」
東部教育事務所 指導主事 秋山 香奈子
- ・講義6「よい授業のポイント（授業づくりについて）」
東部教育事務所 指導主事 竹内 桂太
- ・講義7「先輩に学ぶ」
越谷市立東中学校 教 諭 坂田 陽香
- ・受講者代表「教員生活2年目を迎えて」
加須市立大桑小学校 教 諭 松本 佳憲

<第2日> 令和5年8月8日（火）【全日：越谷市立南越谷小学校（参集）】

- ・協議1「第1日の講義動画を振り返って」
- ・協議2「生徒指導に関する課題と指導の工夫」
- ・協議3「特別支援教育の視点を生かした授業・学級経営における指導の工夫」
- ・協議4「道徳授業における指導方法の工夫」
- ・協議5「学習指導における実践と今後の課題」

5 内容・受講者感想

講話 ステップ・アップ：進歩すること。向上すること。

東部教育事務所 所長 鈴木 美幸

- 1 「昨年度からステップ・アップしているものは何ですか」
- 2 「僕らはなぜはたらくのか」 (池上彰著)
- 3 学級づくり
- 4 ステップ・アップ

東部地区ステップ・アップ研修会 R5.8.4 (金)

ステップ・アップ：進歩すること。向上すること。

東部教育事務所長 鈴木 美幸

1 「昨年度から、ステップ・アップしたことは何ですか」
「今年度、ステップ・アップしたいことは何ですか」

2 「僕らはなぜはたらくのか」(池上 彰 著)
(1) 学び続ける

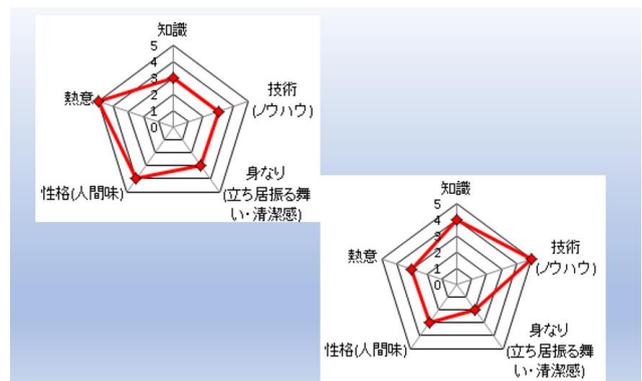
【受講者感想】

- ◎お話を聞いて、教えられることが保証されていた初任者と違い、2年次以降は、自ら学ぶ姿勢を強くもたなければいけないと思いました。学び続けることで現れる壁や困難を乗り越えてこそ、未来を担う子供を育てる教員としての存在意義があると感じました。
- ◎今年度ステップ・アップしたいこととして、学級経営をあげて考えました。「虫の目 鳥の目 魚の目」という言葉から、子供を多くの視点で視ることの重要さや、視点を変えることによって見えてくる様々なことが、学級経営にも繋がると感じました。

講義 1 「東部の教育を担う教員として」

東部教育事務所教育支援担当・学力向上推進担当
主席指導主事 向後 健一

- 1 はじめに
- 2 東部の教育を担う教員として
 - (1) ステップ・アップしていますか
 - (2) 信頼される教員となるために
 - (3) 児童生徒理解と保護者理解
- 3 ステップ・アップ研修に臨むにあたって
 - (1) 「学び続ける教師」としての姿勢
 - (2) 縦・横のつながりを大切に
- 4 おわりに



【受講者感想】

- ◎東部の教育を担う教員として意識を高めることができました。教育公務員としての自覚や感謝の気持ち、チームの一員として日ごろ多くの先生方と関係を築く中で、学びを増やしていきたいです。
- ◎確実にこの2年目にステップ・アップするために、学ぶ姿勢を保ち続けていきたいと思えます。新しい価値観や知識に常に目を向けるようにし、変化の激しい時代を生きていく子供たちの目線にいるよう心掛けていかなければと改めて感じました。

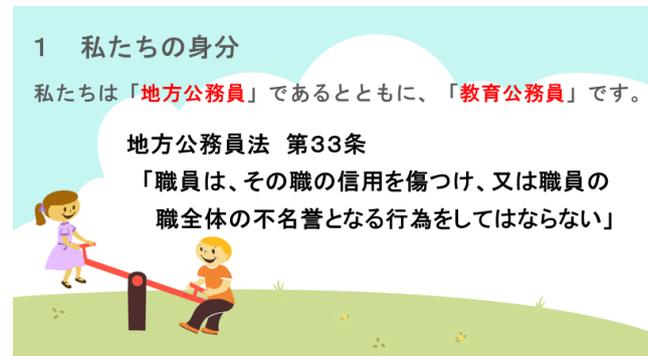
講義 2

「教育公務員としての服務規律と不祥事の防止」

東部教育事務所総務・人事・学事担当

主席管理主事 田村 嘉則

- 1 はじめに
- 2 私たちの身分
- 3 教員としての心得
- 4 教員としての服務
- 5 おわりに



【受講者感想】

- ◎教員は、地方公務員であり教育公務員として、社会全体から「先生」として見られているということを改めて感じました。法律に基づいて仕事をしている為、教職員事故や不祥事等を起こし、信頼を失うことがないように教員としての自覚と責任をもち、日々の生活を送りたいと思いました。
- ◎教員採用試験、初任者研修と学んできましたが、兜の緒を締めるような思いで傾聴することができました。埼玉県が求める教師像に恥じないように、教育公務員として生活していきたいと思います。細かいことでも「報告・連絡・相談」を行っていきます。

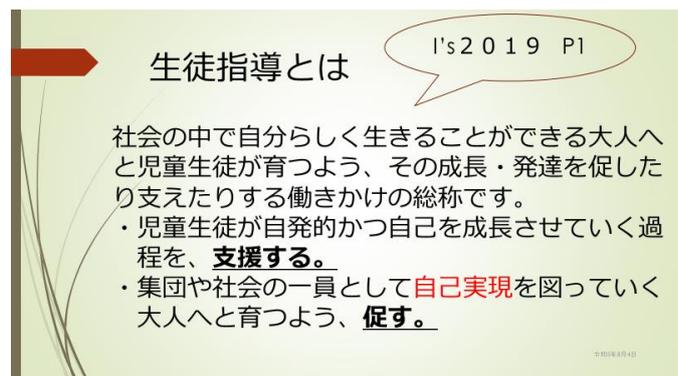
講義 3

「生徒指導に関する現状と課題」

東部教育事務所 主任指導主事

野見山 伸一

- 1 はじめに
- 2 生徒指導とは
- 3 普段の学校生活では、実際にどのようなことをしているのだろうか？
- 4 演習
(生徒指導ハンドブック New I's より)
- 5 おわりに



【受講者感想】

- ◎生徒指導と聞くと、主に問題行動に対して対応することだと思っていました。しかし、動画を視聴し、あいさつ運動や身だしなみなど問題行動だけでなく自己実現に向けたものだということが分かりました。また、起きてから対応するのではなく、日頃児童をよく見て些細な変化に気付くことが大切だと実感しました。
- ◎生徒指導の3つの機能 1 自己存在感を与える 2 共感的人間関係の育成 3 自己決定の場を与え、自己の可能性の開発の援助ということを学びました。また、「心の居場所」にするために安心安全な学校・学級づくり、「絆づくりの場」にするために場と機会の設定ということが印象に残り、教育活動そのものだと感じました。2学期からまたいつも心がけて行きたいと思います。

講義 4

「特別支援教育の視点を生かした授業、学級経営の充実」

東部教育事務所 指導主事 太田 真輝

- 1 はじめに
- 2 みんなが分かる授業づくり
- 3 特別支援教育に関する情報提供
- 4 (1) インクルーシブ教育システムについて
(2) 合理的配慮の提供について
(3) 交流及び共同学習について
- 5 おわりに

合理的配慮は、障害の診断や障害者手帳を所持する児童生徒だけでなく、障害の可能性のある児童生徒へも提供される

- 「できるか」、「できないか」(0か100か)で考えないようにする。
- どこまでできるのか、何ができないのか、できない理由は何か。
- できないのであれば、代わりにどんな配慮ができそうか。

関係者で合意形成を図る
合理的配慮を実施してからも、評価・改善を行う
(そのためにも個別的教育支援計画・個別の指導計画の役割は重要)



11

【受講者感想】

- ◎近年、共生社会を目指したインクルーシブ教育を大切にすることが必要であると知り、具体的な例から考えることができました。障害の有無に関わらず、教室全体で取り入れていくことが大切だと分かりました。すべての人々が共に助け合い、支え合って生きていくことを学ばせていきたいです。
- ◎現在、特別支援学級の担任をさせていただいているので、自分事として、どのお話も興味深く聞くことができました。具体的な方策も、参考にさせていただきたいと思います。共生社会に向けて、とても簡単な道ではありませんが、障害のある生徒も、そうでない生徒も、お互いと自分を認め合いながら協力していけるような教育活動を行っていければと思います。

講義 5

「道徳教育の充実」

東部教育事務所 指導主事 秋山 香奈子

- 1 はじめに
- 2 道徳科になって知っておくべきこと
- 3 柔軟な道徳授業をつくるために
- 4 道徳科における評価
- 5 おわりに

5 結びに

「考え、議論する道徳」
(主体的に自分との関わりで) (多様な考え方や感じ方と出会い交流する)

- (1) 学校は、静かな所
・子供の発言の最後まで聴き取れる・間が大切にされる
・子供が自分と向き合って深く考えることができる
- (2) 学校は、わからないことが優先される所
・分かなさの価値付け 「分からないから教えて」
・自分の要(い)場所がある=必要とされる
- (3) 学校は、出会いと対話のある所
・友達や教師とつながっている充足感



**「型」にこだわらず「軸」をもつこと！
すべては目の前にいる子供たちのために！**

18

【受講者感想】

- ◎道徳の授業を行う際に、問題意識をもち、自分との関わりで考えること、問題を追求し、多面的・多角的に考えること、磨きあい、生き方について考えを深めること、この3つのポイントを教師自身が意識して取り組むことが大切だと気付かされ、勉強になりました。
- ◎今回の講義を受けて、道徳の授業の組み立て方を改めて学ぶことができました。まだまだ、授業の組み立て方の知識が乏しい中、最初のチェックリストで自分が行っていることを明確にすることができ、今の自分に必要なことを再確認することができました。いろいろな先生の道徳の授業を参観しながら、学んでいきたいと思いました。

講義 6

「よい授業のポイント（授業づくりについて）」

東部教育事務所 指導主事 竹内 桂太

- 1 生き生きとした授業
 - (1) 児童生徒一人一人の理解
 - (2) 十分な教材研究
- 2 よい授業づくりのポイント
 - (1) 「令和の日本型教育」の構築を目指して
～主体的・対話的で深い学びの実現～
 - (2) 先人の言葉から学ぶ
 - (3) 授業づくりのポイントチェックシートを活用しよう
 - (4) 刊行物・資料の活用
- 3 埼玉県の教員として

講義6のアウトライン

1 生き生きとした授業

(1) 児童生徒一人一人の理解

(2) 十分な教材研究

2 よい授業づくりのポイント

(1) 主体的・対話的で深い学びの実現

(2) 先人の言葉から学ぶ

(3) 授業づくりのポイントチェックシートを活用しよう

(4) 刊行物・資料の活用

3 埼玉県の教員として

教員としての誇りを大切に

【受講者感想】

- ◎『教師は授業で勝負する』まさに日々感じています。授業で生徒が満足していれば、生徒との信頼関係も生まれて日々の教育活動も円滑にいくように感じます。生徒の目がキラキラと輝く授業を目指して、日々研鑽していこうと思います。
- ◎子供たち一人一人の力を引き出すためのよい授業を実践していく為には、児童生徒理解・教材研究・振り返りによる授業改善の3つのサイクルを日々行うことが大切だと感じました。特に課題に対して効果的な学習活動を提供できるよう、1時間の学習で子供たちのどの力を伸ばしたいのかを考えて、ペア活動やグループ活動など効果的な学習方法を意図的に取り入れていこうと思います。

講義 7

「先輩に学ぶ」

越谷市立東中学校 教諭 坂田 陽香

- 1 はじめに
- 2 学級経営
- 3 教科指導
- 4 資質能力の向上
- 5 おわりに

本日の内容

学級経営

・認め合う、励まし合う、支え合う集団
・人間関係を整える
・環境を整える

教科指導

・主体的・対話的で深い学びの充実
・指導と評価の一体化

資質能力の向上

・研修会、研究会等
・長期研修

【受講者感想】

- ◎認め合う、支え合う、励まし合う集団づくりや人間関係づくりを行うために、学級通信で多くの子供について触れ、アドバイスシート等を活用したりなど様々な工夫を行うことの大切を感じました。また、わくわく感のある授業づくりや環境設備の工夫、資質・能力の向上を図るために、積極的に研修会、研究会に参加することの大切も学びました。
- ◎担任としての楽しさ、面白さを感じるだけでなく、悩みや葛藤を感じるというところに共感しました。また、何年やっても悩むことがあるというところに、何年も経験を重ねた先生でさえも、試行錯誤の日々であることに気付きました。私も思うようにいかず失敗の連続ではありますが、挫けることなく目の前の子供たちと向き合っていきたいと思います。

- 1 学校紹介
- 2 1年目の成果、課題について
- 3 2年目として

2年目として

② 児童が主体的に学べる授業

- 児童にあった教材づくり
- 学習の機会を増やす
・学習プリントをつねにおいておく
- 授業中にヒントカードの支援
- 明確な指示の出し方
・「鉛筆を置きます」「前を向きます」

【受講者感想】

- ◎私と同じ2年目の先生が自身の失敗した点を振り返り、2年目では1つずつ具体的に改善しているという話を聞き、私も頑張らなくてはという気持ちになりました。今回のステップ・アップ研修1日目を経て、改めて1年目の自身の取組みを振り返りたいと思います。
- ◎同期の先生方が自分と同じような悩みをもっていることを知り、とても勇気をもらえました。自分は一日一日を乗り越えることで精いっぱい、視野が狭かったけれど、自分の同期たちも忙しい中それぞれの学校で活躍していると思うと、自分も負けていけないなど感じました。

協議1 「第1日の講義動画を振り返って」

- ◎教員は、学び続けることで成長し続けられると感じました。今回の研修のような機会はもちろん、自己研鑽の機会を自ら得ることで、教員としての幅が広がっていくのだと思います。たくさんの経験をし、技術を磨いていこうと考えています。
- ◎協議を通して、他の先生方が今年度努力していることや動画を視聴して印象に残ったことを共有することができました。その中で、自己評価シートの活用についての話があり、自分自身もあまりできていないことなので、実践していこうと思いました。

協議2 「生徒指導に関する課題と指導の工夫」

- ◎生徒指導に対してたくさんの意見を聞くことができました。この協議の中で感じたことは、人との信頼関係が大切だということです。生徒・保護者・他の教員とどの人とも信頼関係を結んでいくと円滑なコミュニケーションが取れるのかなと思いました。そのためには、日頃のやりとり帳に目を通し、休み時間の雑談や保護者・教員との情報共有が必要だと思いました。
- ◎生徒指導について、事例をもとに詳しく考えることができました。安全確保や未然防止、被害者だけでなく加害者への支援もしっかりと行うことが大切だと学びました。実際に起こってしまった際にも、対応できるように日頃から意識していきたいと思います。

協議3 「特別支援教育の視点を生かした授業、学級経営における指導の工夫」

- ◎特別支援教育の視点でさまざまな指導の工夫を知ることができました。時代が進むにつれ、多様な生徒が増えて指導方法も多様化しているので、その生徒一人一人に合った指導が必要だと感じました。特に、発達障害や外国籍の生徒に対しての支援の方法を考えていかなければならないので、多くの先生方の意見を聞いて対応方法の引き出しを増やしていきたいと思いました。
- ◎特別な支援を必要とする子供は増えてきているので、保護者だけでなく様々な関係機関と連携して対応することが大切だと思いました。また個の実態に応じて授業や環境の工夫を行い、一人一人を認めることが必要であると改めて感じました。

協議4 「道徳授業における指導方法の工夫」

- ◎道徳は生き方について、一緒に考える時間だということが分かりました。また、登場人物の心情をもとに、自分の意見や思いをもつことが大切であることも分かりました。そのためには、問題意識が高まる導入にすることが大切で、児童の実態を考えながら、工夫したいと思います。
- ◎道徳についての協議は常日頃やっていきたいと思える協議でした。多くの先生が同じような悩みを抱えていて、話し合うことがとても楽しく感じられました。完璧な解決には至っていないので、これからも話し合うことや自ら学ぶことを辞めずに続けていきたいです。

協議5 「学習指導における実践と今後の課題」

- ◎本日の総まとめとしてとても良い協議でした。教員の中心となる部分だったのでまだ時間があってもよいくらいに感じました。児童の実態や単元計画は常に考えていきたいです。手を抜かずに努力することで、授業が楽しい、学校に来たいという児童が増えると信じていきます。
- ◎「個別最適な学び」と「協働的な学び」を充実させ、「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善を行うための実践として、ヒントカードの提示や、ジャムボードの活用、ミライシードの活用等、先生方の多くの実践事例を学ぶことができた。学んだことをここで終わらせずに、2学期からの授業で積極的に取り入れていきたいです。

【受講者感想】は、標記の都合上、文末等を変更しています。



6 受講者のアンケート結果

質問項目	回答 (%)				平均
	4	3	2	1	
1 研修に意欲的に参加することができた	84.3	15.5	0.2	0	3.84
2 研修の内容は、実践的で役立つものだった	76.7	22.4	1.0	0	3.74
3 研修に参加して疑問や不安を解消できた	57.2	37.9	4.7	0.1	3.52
4 研修で学んだことを今後に生かしたいと思う	88.7	11.0	0.3	0	3.88
5 研修に満足している	74.7	23.3	2.0	0	3.73

* 4 (あてはまる) ←→ 1 (あてはまらない)

7 成果

- ・今年度は、第1日がオンライン型、第2日が参集型の研修形態であった。第1日の講義内容を踏まえて第2日の協議を行うことで、受講者は協議に向けて目的意識を持って臨むことができ、受講者の実践的指導力等の向上を図ることができた。
- ・第1日のオンラインによる講義では、全講義が教員としての資質・能力を向上させるための重要な内容で、2年次の教員にとって、昨年度の教育活動を見直す契機となり、同時に今後の実践に示唆を与えるものであった。
- ・第2日の参集型の研修では、班別協議を実施し、講義動画で得た知識を基に、研究協議をしたことで、体系的な研修を行うことができた。受講者の理解が深まり、教員としての知見が広がった。
- ・講義「先輩に学ぶ」は、講師の熱意ある言葉から、教員としての魅力ややりがいを再確認することができた。教員としての資質能力を伸ばすための具体的な手立てを知ることができた。
- ・受講者代表発表「2年目を迎えて」では、同期の仲間の実践であることから、同様の悩みや今後への取組に共感したという感想が多く、今後の教員生活への使命感や意欲の向上につながるものとなった。

8 課題

- ◎欠席者は、第1日2名、第2日10名であった。主な理由は、体調不良による欠席であった。(第1日の欠席者は、後日講義動画を視聴する。第2日の欠席者は、協議内容をレポートにまとめ提出する。)
- ◎第2日の研修会場では、快適に研修を進めることができたが、今後、研修時期を踏まえ、暑さ対策、熱中症対策を鑑みて計画をしていく。
- ◎協議の柱、協議時間等、研修内容の充実を検討し、研修の質的な充実を更に図っていく。今後、研修の実施方法が変更になっても充実した研修内容となるよう、引き続き準備をする必要がある。